

飛翔祭（体育の部）

今年は赤、緑、黄、青の4つの団に分かれて、8の字跳び、玉入れ、障害物リレー、大玉転がし、3人4脚リレーの5つの種目で競いました。それぞれが出場する競技も頑張りながら、各委員会の役割を意識し、行動することができました。



飛翔祭（文化部）

今年のテーマは「喜憶～輝かしい思い出を創る～」でした。吹奏楽部による演奏、わく・ワークの学習発表、クラス企画、合唱や TOBU's STAGE、準備をしっかりと行い、助け合い協力して活動していましたね。来年は皆さんを中心となって活動します。頑張っていきましょう。

1組



2組



3組



各クラスの出し物

- 1組 ペットボトル倒し
- 2組 ボーリングサッカー
- 3組 脱出ゲーム



被爆体験朗読会

9月30日に広島の朗読ボランティアを招いて、原爆の被害について学習、体験記や詩の朗読を聞きました。

生徒の感想

戦争で巻き込まれた子ども達がとても可哀そうだった。自分と同じくらいの歳の人が1人で家族に会えずに死んでしまうことがとても苦しいことだなと思いました。原爆の被害がとても大きいことが分かった。原爆で家族が死んでしまって、1人が生き残ってしまったら後悔と悲しみしか残らないのに、生き続けた人はとてもすごいなと思いました。自分だったら生きていられないと思います。平和が続いたらいいなと思いました。

21H



体験記や詩によく弟という言葉が出てきてとても胸が締め付けられました。下に二人弟がいて、親はもちろん、弟達が苦しんでいるという想像をしてしまって、少し泣いてしまいました。今、自分達がいる七尾でももし原爆が落ちてしまうと被害者の皆さんのが体験したような辛い思いをするのかなと思いました。二度とこんなことが起きないようにするにはどうすればよいのかと、これから考えていきたいです。

22H

今日の朗読会で1番強く思ったのは「なぜ罪の無い人々の尊い命を奪うのか」です。確かに、日本がここまで死に物狂いだったということは、相手国であるアメリカ側も必死だったかもしれません。だからといって関係のない人、特に子ども達の命を奪っていく必要はあったのかと疑問に思います。たった1発の原爆、それだけで大勢の人々が苦しむことになりました。私達出来るのは、このようなことがもう2度と起こらないように努力することだと思います。そのために、原爆についてもっとよく知り、考えるようにしたいです。これをすれば、たとえこれから伝える人がいなくなっても、私達が未来の世代に伝えていけると思ったからです。人と原爆はもう永遠に共存できないと感じました。 23H

長谷川等伯展

10月に七尾美術館で開催されていた長谷川等伯展で、国宝の松林図屏風を始めとして、七尾市出身の長谷川等伯にまつわる様々な作品を鑑賞してきました。

生徒の感想

松林図屏風の作品以外にもたくさんの作品があるということを知りました。筆の使い方や、細かいデザインと模様があって実際に見るとすばらしい作品ばかりだな~と思いました。小学校のときにも見たことがあります。でも、そのときは松林の後ろにある山や周りの風景に目をやっていなくて、だから、静かななんだなと思っていました。でも今年は筆のタッチにすごく興味をもって、美術の時間はその長谷川等伯のようなタッチを意識して描きました。濃い、薄いの強弱をつけてみたり、背景のほうも白ではなく、すごく薄い色で染めてみたり、いろんなことを考えて描くことがとても楽しかったです。

21H

長谷川等伯はもともと、七尾市役所にあったり、水墨画の授業をしたりと知っていたけれど、実際に見たり、調べたりする機会もなかったので、今回、等伯の詳細や絵について知れて、等伯についても、七尾についてもまた1つ知れたのではないかなと思いました。見ていて特におもしろいと感じたのは「仏涅槃図（ねはんず）」です。無分が描いたものにはあったムカデが宗清と信春が描いたものにはなつたり、信春が描いたものは構図が少し違ったりと、真似して描いていても個人差があっておもしろかったです。もう見ることはできないかもしれない松林図屏風を見ることができてとてもいい経験になりました。

22H

今日、等伯展を見学して思ったことはとても不思議で細かく描かれていてとても驚きました。特に風景で町や人、木、石など、とんがっているところなど、より詳しく描かれていて感動しました。物だけではなく霧なども水墨画で描かれていてとても驚きました。どうやったら筆でそんなふうに描けるのだろうと思いました。私が、特に好きな絵は「波濤図（はとうず）」です。途中まで飾ってあるそうですが、その続きも見てみたいです。そして、なぜ好きか、理由は海の細い部分や綺麗な線、波の動きなどがはっきり描かれており、水墨画なのにどうして、このように描けるのかと思ったところが沢山ありました。

23H

11月 スタディプロジェクト開始

11月5日から受験に向けて、スタディプロジェクトが開始します。5教科の1、2年生の復習を通して学びの定着を目指します。

「継続は力なり “です。受験に向けて学校・家庭が一丸となって、コツコツ頑張っていきましょう！」